

# H29年度 全国学力・学習状況調査 結果の概要

平成19年度より実施されている「全国学力・学習状況調査」は、児童・生徒の学力や学習状況を分析することで教育施策の成果と課題を明らかにし、充実・改善を図ることを目的としています。

あわら市教育委員会では、平成29年4月に実施された調査の結果について、これまで同様に公表することとしました。公表する学力は、成長過程の子ども達の現時点での一面であり、限られた教科の学力や学習状況の一部分を測定するにすぎませんが、「知・徳・体の総合的な学力」を目指すための、今後の取組の資料としたいと考えております。

また、児童・生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が不可欠です。今回の公表を通して、連携体制をより一層強く築くための一助にしたいと思います。みなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

■調査対象：小学校6年の児童及び中学校3年の生徒

※表 あわら市平均正答率と全国・県平均正答率との比較  
(3ポイント差を基準：◎≥3、3>○≥0、0>△≥-3、-3>▲)

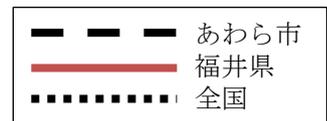
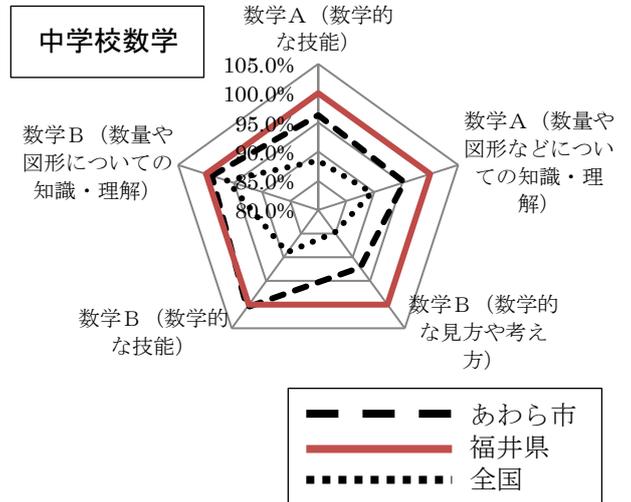
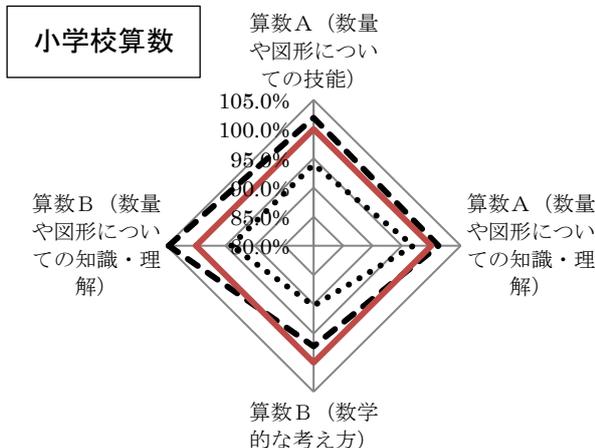
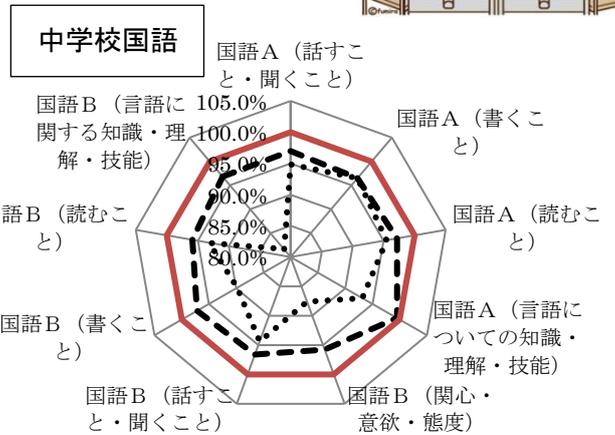
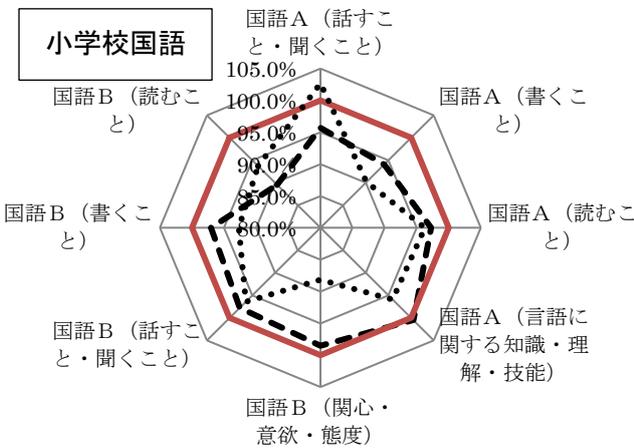
■調査事項および内容

1. 教科に関する調査
  - ・〔主として「知識」〕…国語A、算数A・数学A
  - ・〔主として「活用」〕…国語B、算数B・数学B
2. 質問紙調査
  - ・児童・生徒質問紙（小・中学校）

小学6年	全国との比較	県との比較	中学3年	全国との比較	県との比較
国語A	◎	○	国語A	◎	△
国語B	△	△	国語B	○	△
算数A	◎	○	数学A	◎	△
算数B	◎	△	数学B	◎	△

■教科に関する調査の結果から

- 小学校の平均正答率は、国語Bを除く全ての教科において全国平均を大きく上回りました。
- また、県平均との比較では、国語Aと算数Aにおいてのみ上回り、国語Bと算数Bは下回る結果となりました。
- 中学校の平均正答率は、全てにおいて全国平均を上回ったものの、県平均との比較では全ての教科で若干下回る結果となりました。
- 観点別正答率（福井県平均正答率を100%として比較）



○成果と課題

・小学校国語

学年別配当漢字に示されている同音、同訓の漢字を、文の意味を理解して正しく答えることができます。また、昨年度まで課題となっていた、手紙の後付けの書き方については改善が見られます。

しかし、話し合いにおける発言の内容や意図を捉えることには課題があります。文章の読み取りや話し合いの学習では、根拠を明確にして自分の考えを述べるよう意識する必要があるようです。

・小学校算数

小数の四則計算や商を分数で表すことなど、計算のきまりをしっかりと理解し、正確に計算ができています。また、多角形の中心角を求めたり、資料を整理して表にまとめたりする基本的な学習内容を理解できています。

しかし、基準量と比較量の関係や割合の意味を理解することに課題があります。例えば、「A をもとにして〇%長い（大きい）」という割合の意味を理解し、長さ（大きさ）を視覚的にとらえることが難しいようです。低学年の頃から、「基準量」を明確にしてそれを数直線や関係図に表す学習方法を継続する必要があるようです。

・中学校国語

文脈に即して漢字を正しく読むことや慣用句・ことわざの意味を理解して文脈の中で適切に使うことができます。また、場面の展開や登場人物などの描写に注意して物語を読み、内容を理解することができます。

しかし、書いた文章を読み返して語句の使い方を工夫して書き直したり、助言を基に自分の表現を見直したりすることが苦手なようです。また、比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを複数の条件に合わせて適切に書くことに課題があります。日頃から自分の考えを書く時には、目的や条件を意識して書くことに慣れる必要があるようです。



・中学校数学

平面上で図形を移動することや面を回転させてできる立体をイメージすること、簡単な場合について同様に確からしいことの意味を理解して確立を求めることが良好な結果です。

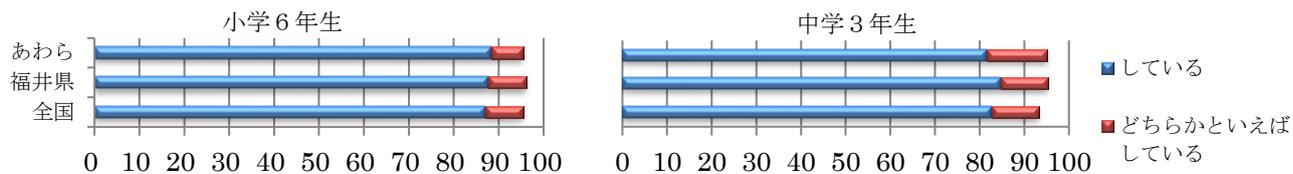
しかし、事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由や問題解決の方法を説明することに課題があります。問題から得られる情報を整理し、数学的な表現を用いて説明する活動を多く取り入れていく必要があるようです。

■児童生徒質問紙調査の結果から

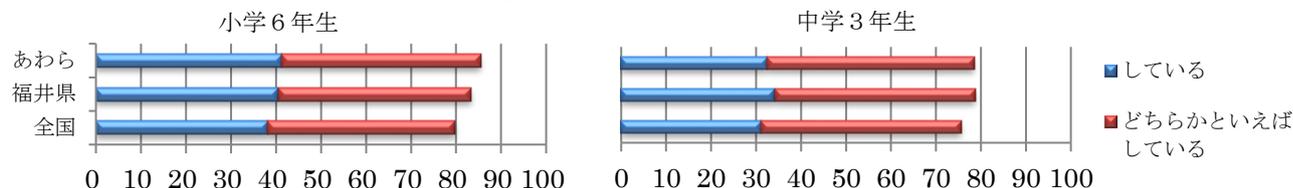
生活習慣

睡眠時間を十分に確保し、朝食を毎日食べて来るなど規則正しい生活を送っている児童生徒が多いようです。ただ、小学生のテレビやビデオ等を視聴する時間が長いようです。

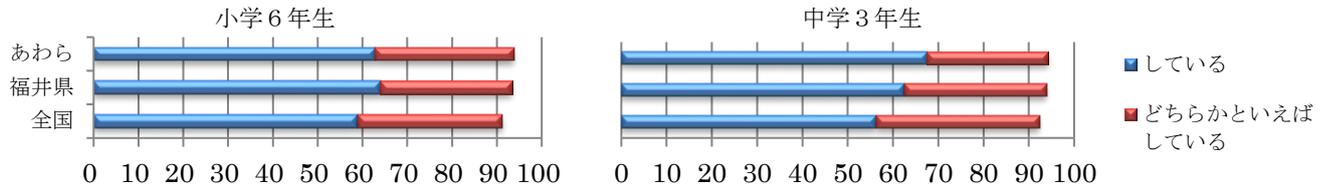
○朝食を毎日食べていますか。



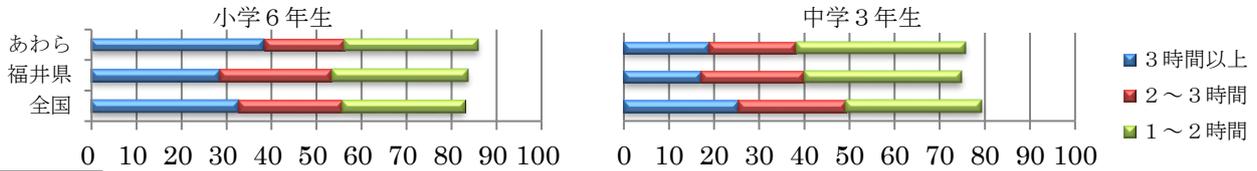
○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



○毎日、同じくらいの時刻におきていますか。



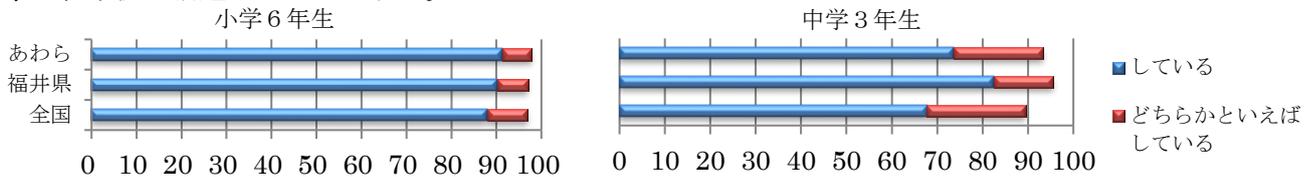
○普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりしますか。



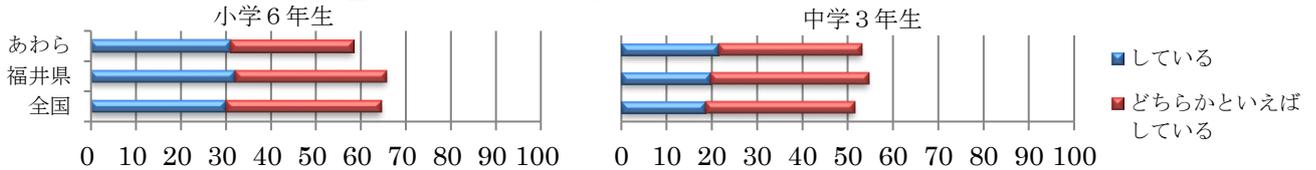
**学習習慣**

宿題には真面目に取り組み、家庭学習は予習よりも復習が中心です。ただ、自分で計画的に進んで学習する習慣が身につけているとは言えないようです。

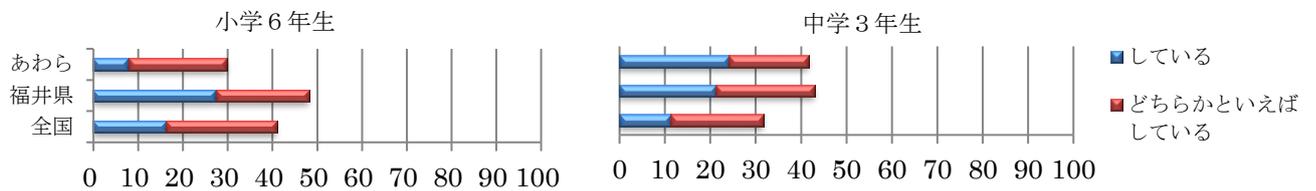
○家で、学校の宿題をしていますか。



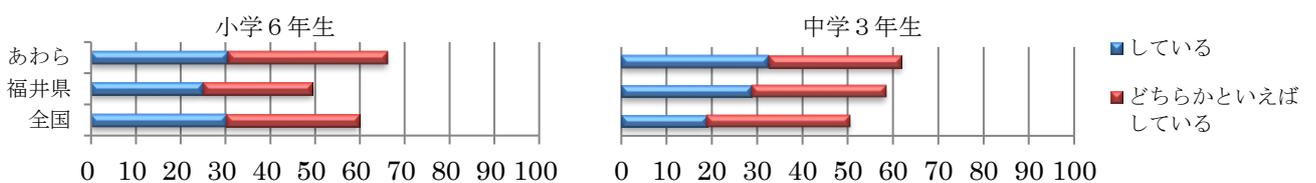
○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



○家で、学校の授業の予習をしていますか。



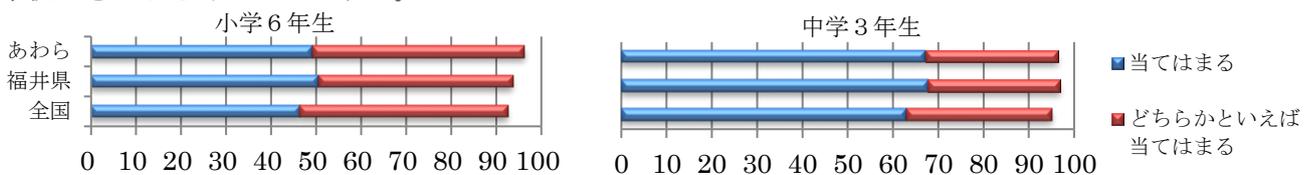
○家で、学校の授業の復習をしていますか。



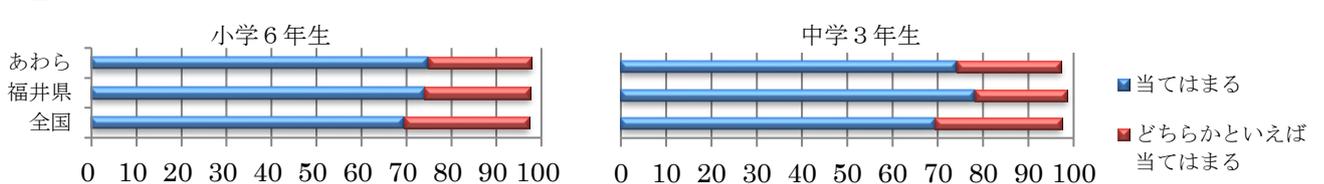
**規範意識**

学校のきまりや友達との約束を守る児童・生徒が多いようです。また、困っている人を助けることもできていますが、あまり積極的ではないようです。

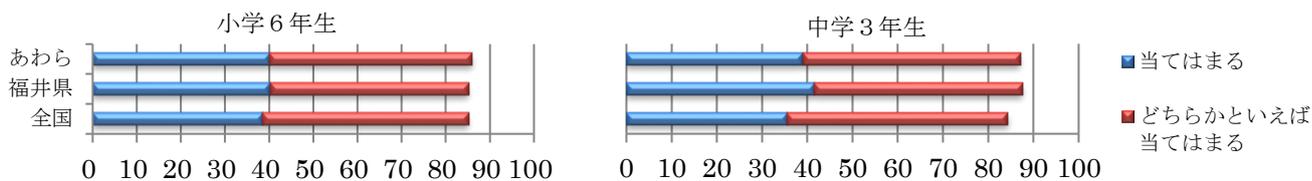
○学校のきまりを守っていますか。



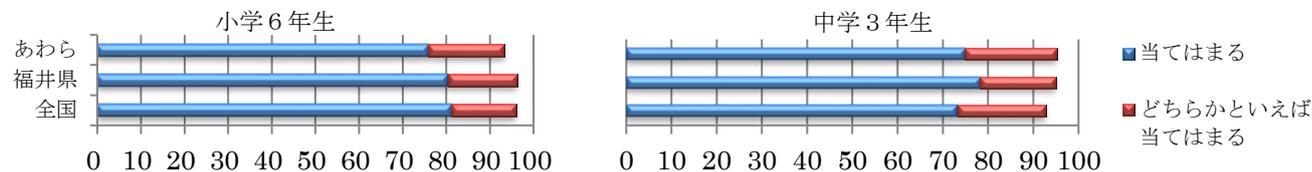
○友達との約束を守っていますか。



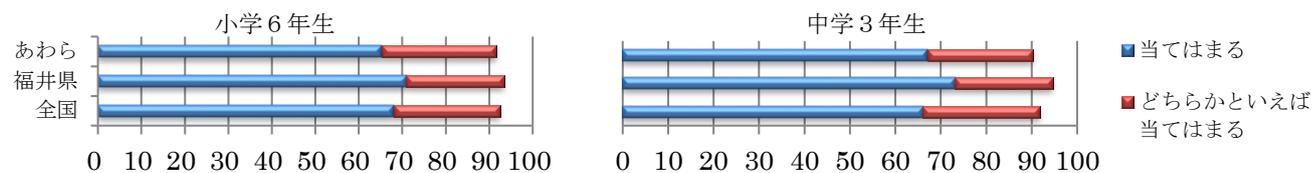
○人が困っているときは、進んで助けていますか。



○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



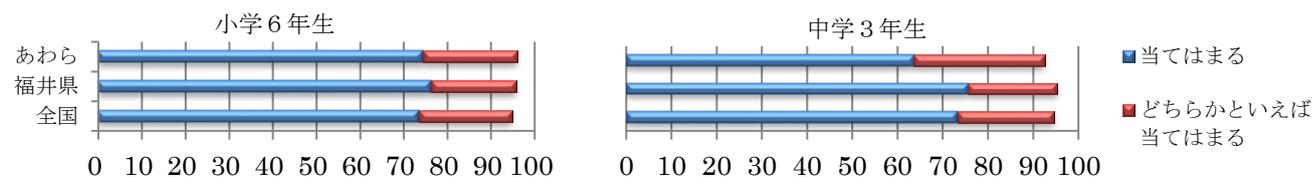
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



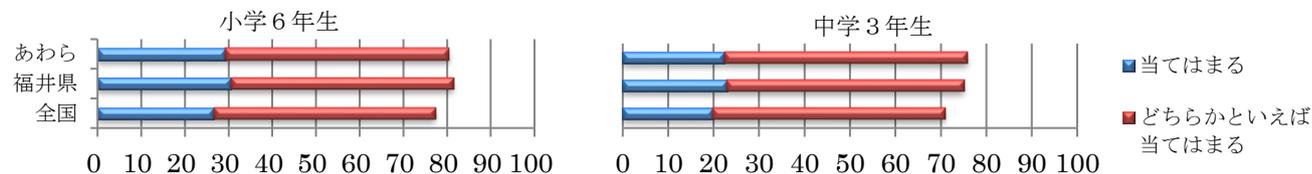
**自尊感情**

自分に良い所があると思っている児童が約8割、中学3年生では約7割です。また、将来の夢や目標を持っている児童・生徒は、学年が上がるにつれて減少傾向にあるようです。

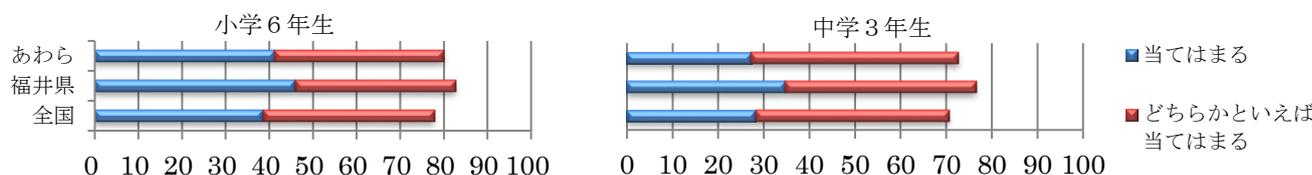
○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。



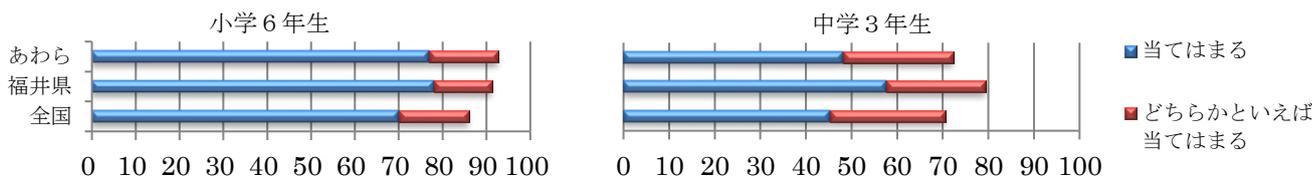
○難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。



○自分には、よいところがあると思いますか。



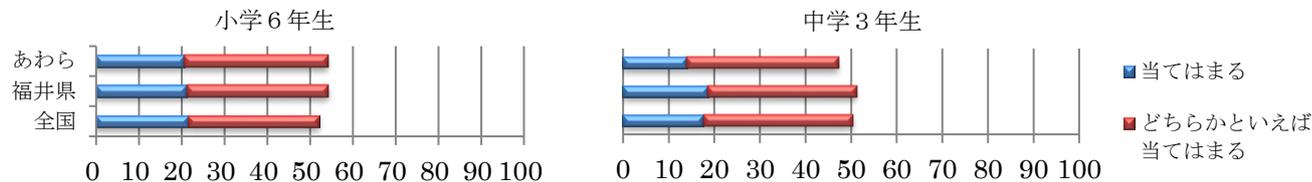
○将来の夢や目標を持っていますか。



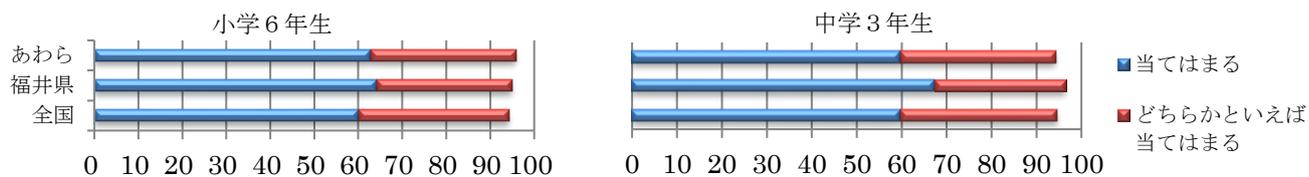
**言語活動・読解力**

普段の授業において、自分たちで課題を見つけ、解決に向けて取り組み、考えを表現する学習が不十分のようです。計画的に取り組む必要があります。

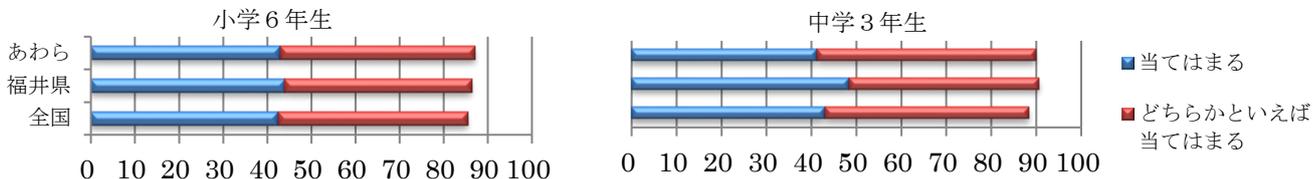
○友達の前で自分の考えを発表することは得意ですか。



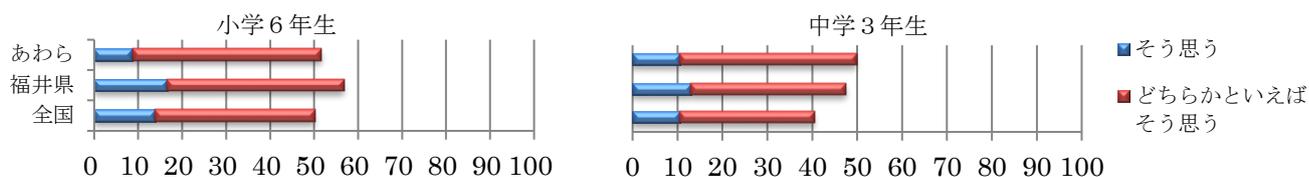
○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。



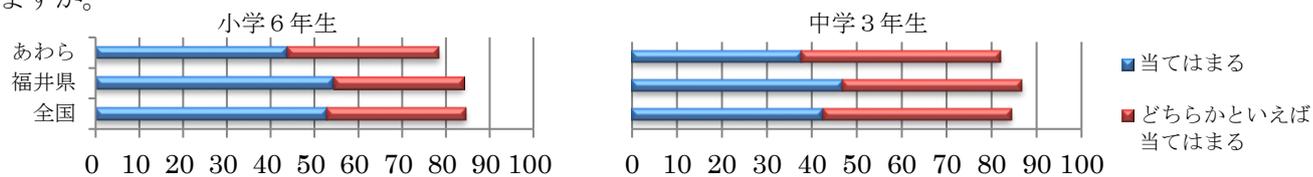
○友達と話し合うとき、友達の考えを受け止め、自分の考えを持つことができますか。



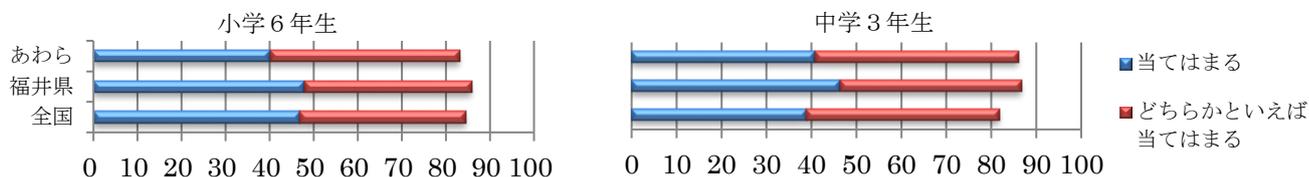
○話し合い活動では、異なる意見や少数意見の良さを生かし、折り合いをつけて意見をまとめていますか。



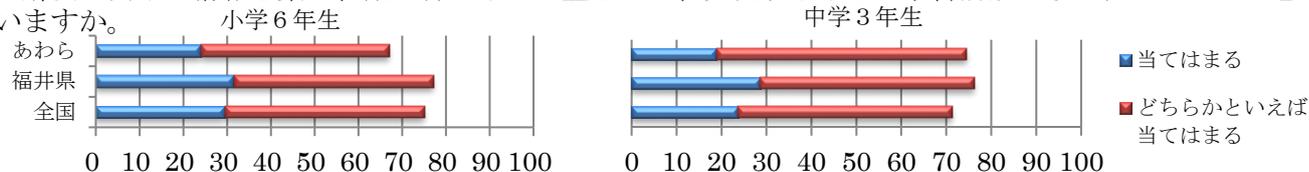
○5年生まで(中学2年生のとき)に受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



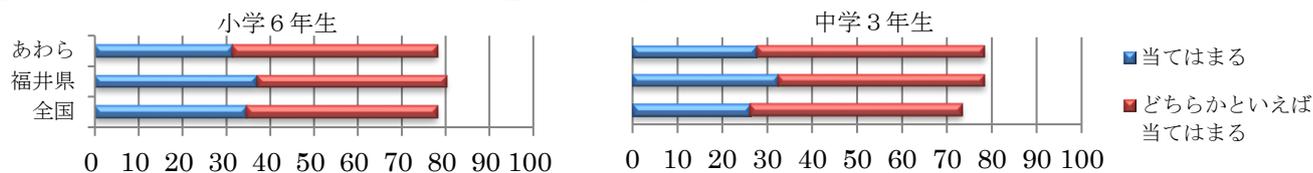
○5年生まで(中学2年生のとき)に受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



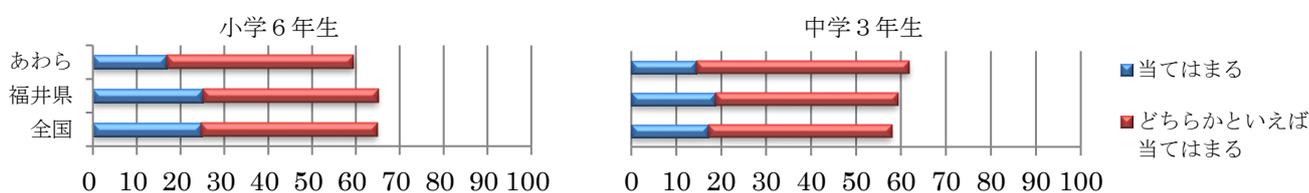
○5年生まで(中学2年生のとき)に受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。



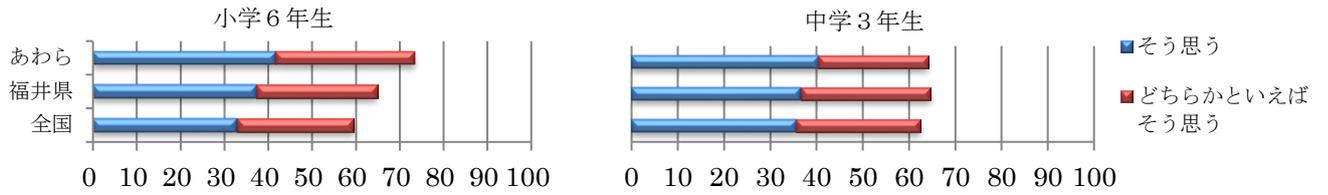
○5年生まで(中学2年生のとき)に受けた授業で、話し合う活動では、内容を理解し、相手の考えを聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。



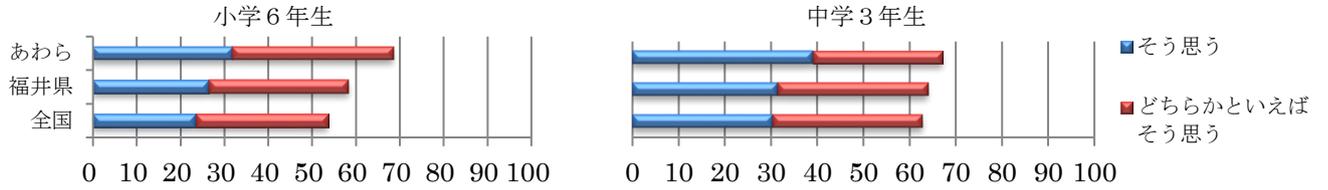
○5年生まで(中学2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。



○ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。



○ 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。



○ 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

